

大阪探検隊【海外編】
Osaka City Expeditionary party

[シンガポール]

Singapore

私事ではありますが、先月結婚いたしましたして、シンガポールとマレーシアのマラッカ&ティオマン島へ新婚旅行に行ってきました。

なぜシンガポールとマレーシアか？

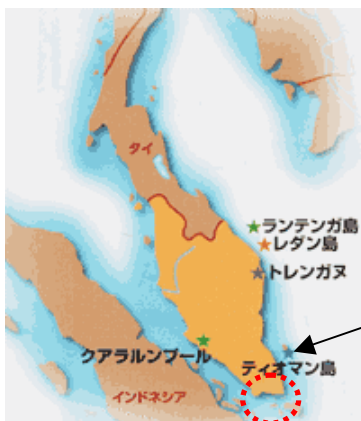
その理由は、英語しか話せないカナダ人の嫁の希望で、しかも近場のリゾートといこと単純な理由です。

シンガポールのダウンタウンの摩天楼とマーライオンを望む風景



マレーシアの歴史都市・マラッカのチャイナタウン

マレーシア・ティオマン島の青い海



シンガポール



2カ国語で表示されているMRT（地下鉄）の
車内表示 4カ国語の場合もあり。

アジアの国でありながら英語が公用語の国
シンガポールの公用語はなんと4つ（マレー語、
中国語、英語、タミール語）

あるデータによるとシンガポール国民の識字率は
93%で、そのうち英語を話すことができる人の割
合が71%。また、2カ国語以上話すことができる
人の割合は57%と高い数字を示しています。

リー・クアンユー首相（現上級首相）による「バ
イリンガル政策」

「バイリンガル政策」とは、シンガポールの発
展のために「母国語＋共通語としての英語」を
マスターせよという強引ともいえる政策です。
まずビジネス用語を英語に定めるように政令
が出され、続いて、学校教育では英語、中国語、
マレー語、タミール語とばらばらで使用されて
いたものが、英語に統一されたそうです。

リー・クアンユー回顧録

（出版：日本経済新聞社、2000年）より



しかし、「バイリンガル政策」による弊害も

（主な弊害）

たとえば

中国語を話す祖父母と英語を話す孫のコミュニケーションが図れない！！

シンガポール英語独自の発音や文法の矯正...など

憧れのマルチリンガルはいるのか？

一方、コラムの舞台「カナダ」ではどういう状況か？

カナダは移民国家であるため、「英語＋両親の母国語」を話す人は結構いる。また、3カ国語以上を
操る語学の達人もいる。

<僕の友人のコスタ君の場合（4カ国語）>

両親の母国語（ギリシャ語とスペイン語）に合わせ、ケベック州の公用語フランス語＋英語

<別の友人のサビーネさんの場合（3カ国語）>

コスタリカ人の父親とドイツ人の母親の母国語（スペイン語とドイツ語）、6歳からメキシコで育
ち、小・中学校をドイツ人学校に通い、高校・大学は地元のスペイン語系の大学で学んだので完璧な
バイリンガルである。その後留学先としてカナダを選んだため学校では英語を話す。

さて我が家ではどうする？

嫁さんが日本語を話せないのに、今のところバイリンガル家族とは言えません。それでも長期的に
は子どもが私の両親と意志疎通できなくなることは避けたいと思っています。責任重大です。